（本號八面）　（明治廿五年三月十一日遞信省認可）　明治二十八年五月廿四日　第四千二百八十八號　（定價金二錢五厘）

時事新報

明治廿八年五月廿四日　金曜日
舊暦乙未五月朔日（辛、未）
日出午前四時三十二分　日入午後六時四十四分　月出午前三時四十五分　月入午後四時四十三分　滿潮午前五時十五分　午後五時十五分
〔西暦一千八百九十五年〕
年始より百四十四日　年末まで二百二十一日

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり
時事新報には毎號詳細なる商况物價の報告あり

時事新報

避病院の設置に就て

在外軍隊の引揚と共に虎列剌病毒を輸入して内地に其毒を傳播す可きは必然の成行にして現に今日に於ても關西地方にては僅に一二の歸航者が病毒を齎らして之を傳へしより次第に蔓延の徵候ありと云ふ當局者に於ても豫め此事あるを察して臨時檢疫所を設置し嚴重に消毒の法を施して病毒内侵の豫防に盡力する由なれば其効能の大に見る可きものあるは蓋し疑なかる可しと雖も元來虎列剌の毒は目にも見えず手にも觸れずして傳播の力を逞ふするの常なるが故に臨時檢疫所の裝置完全なるにもせよ微塵も毒を殘さずして防禦し盡す可しとの實說は決して出來難し學醫の說にも本年の盛暑より秋涼の候に掛け必ず多少の内侵は免れざる可しとの豫想なれば今より之に對するの方法を講じて充分に警戒を加へ都府市街の如き人口多き場所に注意す可きは無論取り分け東京は全國の大都會に位すると共に其禍を蒙ることも亦大なる可ければ特に之に備ふること目下の急務なる可し就ては避病院を設置するは差向きの肝要事なれども從來の避病院は其構造如何にも粗末にして内部の體苦しき有樣は一見、先づ不愉快を感ずるばかり且つ其往來不便利にして途中に患者の苦痛も甚だしく下等の貧民なれば兎も角も苟も中流以上のものは迚も之に堪へず人々の入院を嫌ふも誠に尤もの次第なれば今回は新に淸潔なる家屋を築造して患者をして心安く入院せしむるの工風專一なる可し然るに爰に差向きの困難は位置撰定の一事なり單に便利上より云へば市の中央に設くること至極適當なれども避病院の設置は市民多數の嫌忌する所にして中央は扨置き場末の町村にても種々の故障を生じて容易に許されず去り迚遠隔の土地は患者の運搬に困難多くして從て防禦の上にも緩慢の憾あり何れにしても都合の宜しきを得ざるは當局者の常に當惑する所なり依て爰に我輩の一案を提出すれば鐵道を利用して凡そ十分乃至十五分間に到着すべき便宜の場所をトし四面無人の地に病院を新築するの計畫こそ極めて便利にして又尤も安全の法なる可しと信ずるものなり患者の爲めには特別の列車を備へ停車場も特に新設して發着共に一切他人と關係を絶ち以て病毒傳播の危險を豫防すること肝要なれども此事たる敢て六ケ敷ことに非ず現在の處にて府下に接する鐵道は官線の新橋、日本鐵道の上野、甲武鐵道の三崎町、總武鐵道の本所あれば是等の線路を利用して東京市の人家を去ること凡そ二三里の地を求むれば適當なる場所を得ること決して難きに非ず果して此計畫を實行するときは避病院は市を隔てゝ安全至極の地に在りながら實際は市中の新橋上野三崎町本所に建築したるものに異ならず或は現在の鐵道を其まゝ利用す可らざるの事情もあらば之を延長し又は支線を造りて尙ほ深く市中に入るも可なり又或は在來の鐵路にて差支へもあらば全く獨立して病院の專用に新鐵道を敷設するも可なり僅々數哩間の敷設、擧手投足の勞にして其經費とても敢て莫大の金を要するにも非ず要は只豫防の効力如何に在ることなれば苟も其方法にして適當なりと認めたる上は斷然取りて行ふ可きのみ若しも然らずして徒に位置の撰定に苦しみ際限もなき苦情に妨げられて果ては止むを得ず不便利と知りながら場末の地に新築することゝもならば假令ひ其病院の構造は完全なるも市中の病人が釣臺に載せられて夏の日に照らされ秋の風に吹かれ人足の足に任せて遠方に搬ぎ行かるゝ其苦痛は正しく地獄の路に異ならず其苦痛の有樣を傳へ又傳へて遂に病を隱蔽するの惡弊を生ずるは無論、隱蔽は即ち蔓延の媒介にして其慘毒測る可らず果して然らば今回非常の計畫を以て臨時檢疫所を設置したる其効力をも空ふするに至る可し我輩が東京市の避病院に鐵道の要を說くも全くに消毒の効を全からしめんが爲めにして文明の世界に文明の利器を利用せんとするの微意のみ

雜報

○獨佛戰爭財政論（承前）

乙　獨逸政府の戰後增税を爲さゞる結果及び償金使用の影響

佛國の償金が獨逸に及ぼしたる影響中爲替手形、支拂切符、銀行紙幣及び其他の有價證券に關し前述したるものを除くの外其他の事を明にする爲め尚ほ左の二件を論ぜざる可らず即ち軍事公債の利子支拂及び元金支拂の爲め、戰爭の損害を恢復する爲め並に陸海軍備を修補改良する爲め（償金なきときは陸海軍備の爲め新公債を起し其利子支辨の爲め租税の増課を要す）租税を賦課するの代りに償金を以て軍事公債を償還したる事及び償金を使用したる事是れなり

〔第一〕　増税を爲さゞる結果

此點に關して我輩は茲に戰爭に捷ち佛國と同一の條件を以て和議を約し佛國より特に償金を取らざるものと假想して議論を起すべし然らんときは獨逸經濟社會の巨大なる資本即ち公債に由て支辨したる巨億の戰爭費は不生産的の大資本となり此大資本を以て唯獨逸の勢力と合同一致とを買得したるのみ獨逸の勢力及び合同一致は國の利益たるに相違なしと雖も之が爲め上記の大資本を消費したる經濟上及び社會上の損害は計る可らず之が爲め帝國全體の生産力及び獨逸人民が内外國貨物を消費する力著しく減少せざる可らず而して軍事公債の利子支拂元金償還に充つべき増税並に戰後必要なる歳出は國民の節儉に依り資本を増殖すべき所得又は生活費に充つべき所得を減ぜざる可らず加之新に賦課する租税の種類に依ては人民の負擔に輕重を來すべし概して言ふときは租税の増加は所得の多からざる下等社會の負擔に歸し比較的富者よりも下等社會に對し苛重ならざるを得ず而して其負擔したる租税の一部は公債の利子に使用せらるゝを以て結局下等社會の所得は國の債主たる公債所有者の手に移るものとす此弊害は戰爭に由り有用の資本を消費して以て生産力及び職業を減少したるよりも更に大なり

然るに佛國の償金あるが爲め上文の弊害は之を避くるを得たり但し其弊害の幾部分は尚ほ之を免かるゝことを得ざるは下文に於て之を論ずべし償金は一切の戰爭費支辨の爲め賦課すべき新税若くは増税を全く不必要と爲したり故に上文下等社會に對する經濟上の弊害は償金の爲め絶て生來することなかりき戰爭の爲め消費したる資本は公債の償還に依り經濟の持主に戻り從て經濟社會に復歸せり經濟社會は此資本を以て外國輸入品の支拂を爲し又は輸入品に對し同額の貨物輸出を爲すを避くることを得たり之に由り内國の生産及び消費は減少するよりも寧ろ増加し即ち上文に假想したる如く生産消費を節減するの必要絶えてなかりき獨逸の輸出入統計表に由るに粗製品及び補助材料、半製造品並に消費物の輸入は現に大なる増加を現はせり（第十表及び第十三表を看よ）公債償還金を外國輸入品の支拂代償に使用したるは中間數多の作用を經て然るものなれども結局償還金を以て輸入品を購入したるに外ならず唯其事たる内外國の物價及び賃銀の異動に由り紙上に述ぶる如く簡短ならざりしのみ蓋し物價及び勞銀の騰貴は戰爭の爲め増税を爲さゞるに拘はらず戰爭費の一部を獨逸國民の負擔に留めたるの結果を現はせり詳言すれば戰爭の損害を恢復する爲め並に軍備を擴張修補する爲め戰後莫大の資金を費したるは戰爭の爲め直接に支出したると同一の結果に歸するものにして即ち物價及び勞銀騰貴は償金に由て得たる獨逸の利益を甚だしく減縮せり本件に關しては余は下文に於て尚ほ詳說する所あるべし

〔第二〕　償金使用の影響

償金の受領後、獨逸政府は僅少の硬貨、殊に佛貨と多額の孛國、白國、英國銀行等の銀行紙幣及び英獨諸國に於ける銀行者商人等に振向けたる支拂切符及び爲替手形等を有したり總て是等の有價證券は更に現金に異なる所なかりき

（イ）　外國より金貨の流入

獨逸政府は外國殊に英國に於て支拂ふべき爲替手形等の一部を即時に現金に換え之が爲め金貨を獨逸に輸入せしめたり其金貨は佛國より直接に獨逸に支拂はれたる金貨と同じく我國の金貨貯藏高及び全國の財産を無償にて増加せしめたるものなり何となれば其金貨は上文に述ぶる如く、交通取引の勃興、幣制改革及び物價騰貴に因て從前よりも需用の増加したる金銀貨の補充に使用せられたればなり其物價騰貴が通貨の需用を増したることに就ては尚ほ詳に說明せざる可らず抑々我國金銀貨の貯藏の無償にて増加したるを全國財産の増加と認むるは畢竟膨多の通貨其價格を保ち唯騰貴したる貨物の代價を支拂ふべき資金にのみ供せられたればなり物價の騰貴は通貨の價格減少に基くにあらずして主として生産及び貨物の需用供給の關係變更に基ひする貨物の不足より起りたりと云ふべし然れども獨逸政府及び其人民が償金の受領に由て起す所の需用の増加及び取引の勃興も亦獨逸及び外國の市場に於て甚しき物價騰貴を惹起したり勞銀の騰貴も亦同一の原因より來れり此の如く騰貴したる物價及び勞銀を支辨するには從前よりも遥に多額の通貨なかる可らず此通貨の需用は即ち獨逸に於て一は金銀貨の増發又は之に換え硬貨の準備ある銀行紙幣の増發、一は硬貨の準備なき銀行紙幣の増發に由て之に應じたり故に近時世論の囂々たる通貨、殊に紙幣の増加は一定の經濟作用の原因にあらずして實に其結果なり就中取引勃興、投機熱昇騰及び物價騰貴の結果なり設令へば千八百七十三年三月下旬銀行紙幣の増發其極度に達したる時は恰も投機熱既に其極度に達し其反動の始まりたる時なりしが如きを徵するに足れり故に爾後取引の減退したると同時に銀行紙幣の數量減少し而して銀行の信用は其業務の失策なきに拘はらず往々低落したり千八百七十三年の恐慌は此關係に於て英國の幾新數回の恐慌に大に相似たり而して彼のトーケ氏の銀行紙幣及び貨幣制度論の正當なるを再び證明したり償金に原因する通貨の増加が物價騰貴、投機熱等の原因にあらずして其結果たるや否やの問題は尚ほ下文に於て論述すべし

（ロ）　償金をして受領したる爲替手形等が獨逸の富を増したる疑問

獨逸が償金の大部分を爲替手形、銀行紙幣等にて受取りたる結果は何程まで及び如何に其富を増殖したるやは償金支拂の結果に關する主要の問題なり余は此問題に答へんが爲め獨逸に振向けたる爲替手形等と英國に振向けたる爲替手形等を區別して之を說明すべし

既に上文に述べたる如く獨逸に振向けたる爲替手形を以てしたる償金の支拂は取
對する負債義務を無償にて
の國庫が買得したる獨逸の
向けたる貨物の輸入より生
外國の有價證券にして其償
ぜり此貨物輸入及び有價證
ては即ち其輸入額及び購入
の輸出を以て之を代償する
に於て獨逸へ向けたる輸入
證券に換えて獨逸の物産を
果として獨逸政府は佛國政
（獨逸人の外國品購入代償
受取りたるが故に此手形に
轉して獨逸政府に移りたる
百萬の目的に使用し又政府
れたる人は左なきときは外
資産と爲したるものなれば
爲替手形の支拂に依り直接
國内の物産を外國に輸出す
したるのみ此際政府の需用
けたる者の需用、特種の物
わらず然れども内國の生産
種の物品を製出するに足る
止め内國の消費に應ずるに
び消費の状況の變更は一部
及ぼしたるに相違なしと雖
勞銀騰貴の原因と爲すは誤
へば獨逸政府及び償金の問
用は唯外國の需用に代りた
の資本及び勞力は大概内國
の物品に對して大なる需用
に對して他の種類の物品の
體に於ては雙方相平均する
以上述べたる事物の關係は
るものとす何となれば償金
に輸出すべき獨逸の貨物が
の輸入を減ずるのみとなくし
に供用せられたればなり詳
船舶製造等を爲すに當り之
若くは消費を制限せざる可
が爲め別に生産消費を制限
造を成すを得たり又國民の
豊裕なる生活は勞働社會に
る所にして上文に示したる
逸國民の富の一兆にして殊
増加に依り之を徵知するに
利したる證據なり下等社會
奢侈に渉る者なきにあらざ
ふべき現状なり佛國は近年
呈せりゼートベール氏は此
余は之に同意するものを得
爲替手形を以て支拂たる償
したれども其實は之を増加
したり唯之が爲め物貨及び
て償金に因する獨逸經濟の
の輸出貿易は千八百七十三
て別に障害を受けず之に反
有價證券を輸入したる外國
けたる爲替手形を購入して
に獨逸の生産者は始終獨逸
時に帝國の需用及び償金の
せり外國に對して獨逸の經
の購買力を非常に増强した
る爲替手形を以て支拂はれ
して我國に流入したるもの
府を一の全體と思考すると
移轉したるに外ならず之に
甲國より乙國に振向けたる
を以てするにわらざれば之
其他余裕は我國の從前に異
加したる貨物の輸出に基ひ
輸入に注意せざる可らず此
てしたる償金の支拂をして
を以て支拂を爲したると同